

1 本時の位置 (全7時間扱い中の第5時)

前時：提案書で取り上げる問題を班で1つに絞った。

次時：班で1つの提案書を書く。

2 本時の主眼

班で調べる問題を1つに絞り、提案書を書くことに向けて意識を高め始めた子どもたちが、班で決めた問題をさらに深く調べる場面で、ワークシートの項目に着目しながらタブレットを使って情報を集めたり友達と相談したりすることを通して、班ごと考え、まとめることができる。

3 指導上の留意点

- ・提案書を書くために十分な情報を得ることができるように、調べ学習の時間を長くする。
- ・次時で提案書を順序良くスムーズに書けるよう、ワークシートの構成を工夫する。
- ・タブレットを使う際は2人か3人で1つずつ使うようにする。

4 本時の展開

平成30年9月7日(金) 第5校時

授業会場 5年東組教室

5年東組 男子16名 女子16名 計32名

指導教官

授業者

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導入	1 前時の振り返り	・〇班の問題、おもしろいな ・〇班と同じ問題だ。どうやったら自分たちなりの工夫ができるかな。 ・はやく調べたい ・今日もタブレットを使うの？やったー	5	〇児童たちの興味をひき、全体追及としての意識を高めるために、それぞれの班が選んだ問題を一覧にして模造紙にまとめたものを提示する。 「これからどんなふうに、班ごとそれぞれ深めていくのかな？」
	学習問題：班で1つに決めた問題を、さらに深く調べよう。			
展開	2 タブレットを使って班ごと調べ学習をする	・いいサイト見つけたよ。 ・新しい情報を見つけたよ ・先生、見て見て。こんなことがわかったよ。 ・あっちの班がすごいこと調べている。 ・〇〇くん何調べてるの？私も見たい。 ・そのサイトどうやったら出てきた？ ・もう終わっちゃったよ。	35	〇児童たちが調べる内容を適切に理解できていなかったら正しい方向へ導く。
	学習課題：ワークシートの項目に着目しながら、タブレットを使って調べたり、友達と相談しながら調べたりすればよさそう。			
終末	3 次時で書く提案書の項目を確認する。	・早く書きたい。 ・まだ調べ足りない。 ・もう十分だよ。 ・次回、楽しそうだな。 ・ぜんぜんまとまらなかったよ。	5	〇児童たちが単元の見通しを持てるように提案書に書く内容を提示する。 「次回はこんな内容で班ごとに提案書を書いてもらいます。」 評価：班で1つに決めた問題について、班ごと考えまとめることができる。 評価基準：ワークシート 活動の観察